

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



「近代看護教育の生みの親」とも呼ばれるイギリスの看護師フロレンスナイチンゲール(1820~1910)ですが、統計とも深い関わりがあることは日本ではあまり知られていません。

彼女は、上流階級の家産に生まれ、歴史、漢学、音楽など高いレベルの教育を受けました。また、若いころから「近代統計学の父」ベルギー人アドルフ・ケトラーを信奉し、数学や統計に強い興味を持ち、優秀な家庭教師について勉強したと知られています。

ナイチンゲールは、イギリス政府によって看護師団のリporterとしてクリミア戦争^{*}に派遣されると野戦病院で骨身を削って看護活動に励み、病院内の衛生状況を改善することで傷病兵の死亡率を劇的に引き下げました。

彼女は統計に関する知識を存分に使ってイギリス軍の戦死者、傷病者に関する膨大なデータを分析し、彼らの多くが戦場で受けた傷そのものではなく、傷を負った後の治療や病院内の衛生状態が十分でないことが原因で死亡したことを明らかにしたのです。

彼女がとりまとめた報告は、統計になじみのうすい国会議員や役人にも分かりやすいように、当時としては珍しかったグラフを用いて、視覚に訴えるよう工夫されていました。今も「餅のどさか」と呼ばれる円グラフの一種(図1)は彼女によって考え出されたものです。

1860年には、ケトラーが立ち上げた国際統計会議のロンドン大会に出席し、統計的な病院統計のためのモデル形式を提案しました。統計のとり方がバラバラであっては、意味のある比較分析が難しくなり、医療技術の向上にもつながらないと考えたのです。提案は会議



図1) クリミア戦争における死因分析をまとめた円グラフ

K05

- 11 -

で討議され、各国政府に送付する決議が採択されました。

ア 国々まで統計調査の形式や集計方法を標準化することは、今日でも簡単なことではありません。ナイチンゲールには現場の経験と統計の知識に裏付けられた揺るぎない信念があったのでしょう。

このような活躍が認められ、ナイチンゲールは1859年に女性として初めてイギリスの王立統計協会の女性会員に選ばれ、その16年後には米国統計学会の名誉会員にもなっています。

「白衣の天使」ナイチンゲール―祖国イギリスでは、統計学の先駆者として今も人々の記憶に刻まれています。

*1 クリミア戦争はロシアとトルコとの間の戦争で、イギリスはフランスとともにトルコに味方してロシアと戦った。

(総務省統計局ホームページ「ナイチンゲールと統計」による。)

K05

- 12 -

問一 本文はどのようなことを目的として書かれた文章だと考えられますか。次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

K05

- 1 ナイチンゲールが看護師の仕事よりも統計学に力を入れていたことを知ってもらうこと。
- 2 日本で知られているナイチンゲールのイメージを新しくすること。
- 3 ナイチンゲールがクリミア戦争で死亡率を大幅に下げた活躍をしたことを知ってもらうこと。
- 4 ナイチンゲールが女性で初めて王立統計協会の会員になったことを知ってもらうこと。

- 13 -

問二 統計が有用であることを広く知らしめるためにナイチンゲールが行ったのはどのようなことですか。次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

K05

- 1 上流階級の家産に生まれ、優秀な家庭教師について統計を勉強した。
- 2 クリミア戦争の際に統計を使って兵士達の死亡要因を明らかにし、傷病兵の死亡率を劇的に引き下げた。
- 3 統計になじみがない人たちにわかりやすいようグラフを使ったり、統計データを一定の基準に沿って比較できるようにしたりした。
- 4 王立統計協会で初の女性会員に選ばれ、後に米国統計学会の名譽会員にもなった。

- 14 -

問三 本文において、ナイチンゲールの統計に関する業績を説明するために著者が用いている方法はどのようなものですか。次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- 1 みんなが知らないような業績を残していることを列挙し、そのことを示す方法を用いている。
- 2 みんなが知っている事例について別の見方を示し、統計を使っていたらと気付かせる方法を用いている。
- 3 統計の勉強を始めた理由を述べ、統計学との関わりから業績を推測させる方法を用いている。
- 4 統計をどのように使ったのか、また統計を広めるために何を作ったのか、事例を挙げて説得力を増す方法を用いている。

問四 段落アは、本文で取り上げられている事柄を強調する役割を担っていますが、どのようなことを強調していると思いますか。前後の段落との内容の違いに着目し、あなたの考えを書きなさい。

2 次の文章は古典「枕草子」とその現代語訳です。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

『枕草子』

にくきもの
 急ぐことあるをりに来て、^{長言するまらうと。}
 おなづりやすき人ならば、「後^{のち}に」とても、やり
 つべけれど、さすがに心はつかしき人、いとに
 く、^{おつかし。} 硯^{いん}に髪^{かみ}の入りて、すられたる。
 また、墨^{すみ}の中に、石^{いし}のきしきしときしみ鳴りたる。
 にわかにおつらふ人のあるに、^{験者^{けんじや}もどふる}
 に、例^{れい}ある所になくて、外^{ほか}に尋ねありくほど、
 いと待ち遠に久しきに、からうして待ちつけて、
 よるこびながら^{か持せさするに、このころ物怪}

現代語訳

にくらしいもの
 急の用事のある時にやって来て、長々とおしやべりするお客。手しやすい人ならば、「まだ、あとで」とか何とか言いつて帰ってしまうこともできるけれども、やきもきしながらも、相手が目おかれはならぬ立派な人の場合は、たいそうにくらしく、^{迷惑^{めいわく}至極^{しごく}だ。} 硯の中に髪が入っているのに気が付かず墨をすった時。また、墨の中に石がまじって、きしきしといやな音を立てたもの。
 急の病人ができたので、験者を呼ぼうとしたところが、それがいつも居る所に居なくて、使いのものがよそをいろうとさがしまわっている間、たいそう待ち遠しく、長い時間やきもきしながら、それでもやつの思いで迎え入れて、やれやれとよるこびながら^{か持せさ}御祈禱^{ごねだう}をさせよう

K06

-6-

にあずかりて極^{ごく}じにけるにや、居るままにすな
 はち、ねぶり声なる、^{いとにくし。}
 ものうらやみし、身の上嘆き、人の上言ひ、
^{鬱^{ふさ}鬱^{ふさ}のこと}もゆかしがり、聞かまほしうして、
 言ひ知らせぬをば、^{怨^{うら}しそしり、また、} 懼^{おそ}かに
 聞き得たることをば、わがもとより知りたるこ
 とのやうに、^{異人^{いじん}にも}語りしらぶるも、いとに
 くし。

* 験者＝加持・祈禱(おまじないの一種)を行い、病気の治療や災いよけを行う修行者

(著小納言「枕草子」二五段による。)

とすると、近頃は商売繁盛であちこちの物怪調伏に疲れきっているのが、座るやいなや、^{陀羅尼^{だらに}を誦^{じゆ}する声}が半分眠ったような声になるのは、ひどくにくらしい。
 なんでもかでも人のことをうらやみ、自分のことについては逆言を言い、人の噂話ばかりし、ほんのちよっとしたつまらぬことでも根掘り葉掘り知りながって、しつこく話をせがみ、話してやらないと、うらんだり悪口を言ったりし、また、ほんの聞きかじった程度の話を、自分がもともと知っていることのように、他の人にも得々として受け売りしたりする、こんな人も案にいやだ。

K06

-7-

問一 清少納言はなぜ——線部①「むづかし」と思ったのでしょうか。次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- 1 長々とおしゃべりするお姿を嗜すのはとても難しいから。
- 2 相手が立派な人だと「まだあとで」と言いにくいから。
- 3 硯の中に髪が入っているのを取るのは難しいから。
- 4 急な用事なので、片づけるのが難しいから。

K06

- 8 -

問一 この文章の特徴を説明した次の文について、・の空欄に当てはまる言葉を次の組み合わせの中から一つ選びなさい。

に当てはまると思うをいくつもあげてのことを述べる文章になっている。

- | | | |
|---|--------------------------------|--------------------------------|
| | <input type="text" value="ア"/> | <input type="text" value="イ"/> |
| 1 | 具体例 | 主題 |
| 2 | 具体例 | 物語 |
| 3 | 主題 | 物語 |
| 4 | 主題 | 具体例 |

K06

- 9 -

問三 清少納言は——線部②「いとにくし」と思いを述べています。なぜ験者のことを「いとにくし」と思ったのですか。次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 験者がいつ呼んでも来ないから。
- 2 験者が疲れて眠ってしまったから。
- 3 験者が座ると寝てしまうから。
- 4 清少納言がたいそう侍たされたから。

問四 次のような事例を「こんな人も実にいやだ」と言いたい場合、どのように表現しますか。——線部③と同じ書き方で、現代語で書きなさい。

「あきらさんは、課題の工作を兄に代わりに作ってもらったが、人に作ってもらったことは言わずに、自分で全部作ったと友だちに話していた」